

番 号	令和8年度(物品)第 号	仕 様 書						
工 事・製 造 物 件 名	X線透視撮影システム一式 購入							
場 所 又 は 品 名・数 量	名張市 百合が丘西1番町178番地 地内							
金 額	一金 円(税額 円) _____							
期 限	令和9年3月31日まで							
概 要								

No.	名 称	摘 要	内 訳 書				備 考
			単位	数量	単価	合計	
	X線透視撮影システム一式 購入		式	1			富士フイルムメディカル株式会社製
	[内訳]						
1	X線透視撮影台			1			
2	X線高電圧発生装置及びX線制御装置			1			
3	X線管装置			1			
4	X線可動絞り			1			
5	X線検出器 (FPD)			1			
6	画像処理装置・表示装置			1			
7	遠隔・近接ディスプレイシステム			1			
8	ネットワーク接続・DICOM連携一式			1			
9	その他オプション、標準付属品			1			
10	設置工事、既存装置撤去・処分、保守体制一式			1			
	小 計						
	消費税及び地方消費税	10%					
	合 計						

仕様書（X線透視撮影システム一式 購入）

1. 品名および構成

納入する機器は、以下の製品またはその最新モデルとする。

品 名：デジタル X 線透視撮影システム

機種名：CUREVISTA APEX ff（富士フィルムメディカル株式会社製）

内 訳：デジタル X 線透視撮影システムとして調達する物品の名称、数量及び構成

内訳は下記の通りとする。

① X 線透視撮影台

- ・ CUREVISTA APEX 本体
- ・ TU-11000 3way arm（C-Apex 用）
- ・ SECURETABLE（完全固定テーブル）
- ・ 3WAY ARM（3 方向アーム：縦・横・ななめ）
- ・ SECUREILLUMINATION（ステータス表示）
- ・ Intelli FILTER（線質改善付加フィルター）
- ・ テーブルサイドコントローラー
- ・ Intelli COVER（散乱 X 線防護テーブル底カバー）
- ・ テーブルマット
- ・ ショルダーパッド（左右）
- ・ ハンドグリップ（左右）
- ・ フットレスト
- ・ 指向性マイク（脚部搭載）
- ・ スピーカー（外付）
- ・ SECURESENSOR（テーブルタッチセンサー）
- ・ マーゲン PKG（圧迫コーン＋カップホルダー）
- ・ VISTACOCKPIT（近接コントローラー＋タッチ）WL（JOY）
- ・ ワイヤレスデュアルフットスイッチ（透視&撮影）
- ・ ERCP 用防護カーテン
- ・ 被検者用固定バンド
- ・ 注腸器取付金具

② X 線高電圧発生装置及び X 線制御装置

- ・ X 線高電圧装置（三相 200V 用）
- ・ CUREVISTA Open ASSY

- ③ X線管装置
 - ・UH-6QC-307EYB_X線管装置
- ④ X線可動絞り
 - ・Intelli SHUTTER（4辺独立）+SECURELIGHT
- ⑤ X線検出器（FPD）
 - ・VISTAPANEL-NEOFPD 43×43
- ⑥ 画像処理装置・表示装置
 - ・DR-V（A）2画像処理筐体+和文ドキュメント等
 - ・VISTABRAIN（GPU搭載高速画像処理エンジン）
 - ・MAGICHAND（ボイスコントロール）
 - ・HARMONY（マルチ周波数処理×Retinex理論）
 - ・KINETICS（動き追従型マルチノイズ低減）
 - ・TARGET（局所動体追従型残像低減処理）
 - ・HIREZOOM（高精細透視×高倍率ズーム）
 - ・Realtime IR（リアルタイム逐次近似再構成）
 - ・EDR2（輝度安定化処理）
 - ・Boost D（デバイス協調機能）
 - ・Intelli SHOT（透視スクリーンショット）
 - ・Intelli REC.（透視録画）
 - ・Intelli ROI（ROIサイズ自動可変型ABS）
 - ・Intelli COLLIMATION（バーチャルコリメータ）
 - ・イメージコンバータ
 - ・被検者情報通信
 - ・WHITELIST（サイバーセキュリティ）
 - ・UPS（無停電電源装置）
- ⑦ 遠隔・近接ディスプレイシステム
 - ・ZT-TC-11000-2（遠隔操作卓等）
 - ・VISTACOCKPIT（遠隔コントローラー）
 - ・Intelli MONITOR（被ばく線量モニタリング）
 - ・Intelli ALARM（被ばく線量通知）
 - ・ワイヤレスマウス&ワイヤレスキーボード
 - ・フットスイッチ（透視&マイク）

- ・指向性マイク（遠隔コントローラー搭載）
- ・スピーカー（外付）
- ・19inch 高輝度カラーディスプレイ×2
- ・映像統合システム
- ・シーリング用ディスプレイ（19"×1+マイク）
- ・モニター懸垂装置

⑧ ネットワーク接続・DICOM 連携一式

- ・DICOM MWM
- ・DICOM MPPS
- ・DICOM Dose SR
- ・DICOM SC
- ・DICOM Storage
- ・DICOM Print
- ・DICOM モダリティ名変更
- ・DICOM 接続作業 Storage
- ・DICOM 接続作業 MWM
- ・DICOM 接続作業 RDSR
- ・DICOM 接続作業 動画サーバー

⑨ その他オプション、標準付属品

- ・Intelli SHUTTER（4 辺独立）+SECURELIGHT
※④X 線可動絞り
- ・マーゲン PKG（圧迫コーン+カップホルダー）
※①X 線透視撮影台
- ・SECURECAMERA（被検者監視カメラ）
- ・SECURESENSOR（テーブルタッチセンサー）
※①X 線透視撮影台
- ・被検者用固定バンド ※①X 線透視撮影台
- ・VISTACOCKPIT（近接コントローラー+タッチ）WL（JOY）
※①X 線透視撮影台
- ・ワイヤレスデュアルフットスイッチ（透視&撮影） ※①X 線透視撮影台
- ・映像統合システム ※⑦遠隔・近接ディスプレイシステム
- ・ERCP 造影剤強調処理*AI 技術
- ・WOW（背景部減衰処理*特許）
- ・Intelli FRAME（フレーム補間処理）

- ・ Intelli RESOLUTION
- ・ Panorama VIEW (IR スロットラジオグラフィアプリ)
- ・ Angio VIEW (DSA アプリ)
- ・ Real Time Angio (マスク画像撮影不要)
- ・ Intelli EXPORT (検査履歴一覧 CSV 出力)
- ・ VISTARECORDER (医用 HD レコーダー)
- ・ Intelli COLLIMATION (バーチャルコリメータ)

※⑥画像処理装置

- ・ TJVR8N85F120-3 グリッド
- ・ 監視カメラセット
- ・ デスク W1800×D800×H700
- ・ デスク W1000×D600×H720
- ・ 脇デスク W400×D800×H720
- ・ 操作卓用チェア
- ・ 卓上ブックスタンド
- ・ スタンド式防護衣ハンガー
- ・ SECURE カメラ用モニタ

⑩ 設置工事、既存装置撤去・処分、保守体制一式

- ・ 漏洩線量測定
- ・ リモートメンテナンスルーター with SIM
- ・ 天井鉄骨架台工事
- ・ 撮影室扉交換工事
- ・ 内装 (壁・床・レベリング) 工事
- ・ 吊戸棚取付工事
- ・ 電気設備交換 (照明・ブレーカー) 工事
- ・ 洗面台撤去工事

2. 納入期限

令和 9 年 3 月 31 日まで

3. 納入場所

地方独立行政法人名張市立病院 1 階 第 1 透視室

4. 機器仕様（性能・機能に関する要件）

① X線透視撮影台

- ・テーブルはオーバーチューブ方式であること。
- ・テーブル底面に障害物接触時に自動停止するタッチセンサーを搭載すること。
- ・テーブルの起倒範囲は、立位 90° 以上、逆傾斜 90° 以上であること。
- ・天板水平時の許容患者質量は、全動作時最大 200kg 以上であること。
- ・映像系またはテーブルの動作により、被検者を動かさずに広範囲の視野移動が可能であること。
- ・映像系、または天板の横移動ストロークは±11cm 以上であること。
- ・テーブルの上端および下端から FPD 端までの距離は、それぞれ 10cm 以下であること。
- ・立位時若しくは逆傾時に、床面から FPD 端までの距離は 27cm 以下であること。
- ・SID は 110cm 以上を確保できること。
- ・テーブルマット、ショルダーパッド、ハンドグリップ、フットレスト、圧迫筒、バリウムカップホルダーを有すること。種類・個数を含めた詳細は担当者と協議のうえ決定すること。
- ・ワイヤレス近接コントローラー、ワイヤレスデュアルフットスイッチを装備すること。
- ・防護カーテン、被検者固定バンド、指向性の高いマイクを装備すること。
- ・照射表示が可能なステータスランプを 3 箇所以上装備し、多方向から照射中を確認できること。
- ・視野サイズ選択、斜入操作、圧迫操作、X 線絞り操作が可能な近接操作卓を有すること。
- ・天板に取り付ける注腸器（タカネ式 1700）用アタッチメントを準備すること。

② X線高電圧発生装置及び X 線制御装置

- ・X 線制御装置はインバータ方式とし、最大定格出力は 50kW 以上であること。
- ・操作部はカラー液晶タッチパネル、レバー、ボタン、ダイヤル方式であること。

③ X線管装置

- ・焦点サイズは 0.4mm 以下、0.7mm 以下の 2 焦点以上を有する高速回転型であること。
- ・陽極蓄積熱容量は 430kJ（600kHU）以上であること。

④ X線可動絞り

- ・絞り動作は、上下左右羽 4 辺独立動作、および左右連動、上下連動絞りが可能であ

ること。

- ・4 辺独立絞りによる X 線絞り範囲のオートズーム機能、または拡大した視野を移動できる機能を有すること。

⑤ X 線検出器 (FPD)

- ・X 線検出器は間接変換方式の平面検出器 (FPD) であること。
- ・有効視野は最大 42×42cm 以上であること。
- ・視野切換は 4 段階以上とし、12×12cm 以下の高倍率モードを有すること。

⑥ 画像処理装置・表示装置

- ・透視方式は、被ばく低減効果の高い波尾遮断機能付きパルス方式であること。
- ・透視フレームレートは、5 段階以上の選択ができること。
- ・DSA 機能を有すること。また、検査中に距離計測、血管狭窄率計測が可能であること。
- ・被ばく低減を考慮し、最新の画像処理（逐次近似処理等）を有すること。
- ・被ばく線量管理として、透視及び撮影の線量値を換算値にて表示すること。
- ・検査歴一覧を CSV もしくは他形式にて出力し、患者の被ばく管理を容易にすること。

⑦ 遠隔・近接ディスプレイシステム

- ・遠隔ディスプレイ：19 インチ以上の医療用カラーモニタ 2 面（透視用・参照用）を有すること。
- ・近接ディスプレイ：移動型天井懸架装置に 48 インチ程度のモニタを 1 面搭載し、透視・撮影画像、電子カルテ、内視鏡画像、エコー、生体監視モニタを切り替えて表示できること。任意の分割表示切り替え、拡大表示機能を有すること。
- ・近接ディスプレイとは別に透視画像を表示する 19 インチ以上の医療用カラーモニタを壁面に設置すること。
- ・DVD と USB への出力が可能な透視録画装置を装備すること。また、録画装置モニタに内視鏡画像が表示可能であること。
- ・特殊撮影：(1)映像系を平行移動させながら、スリット状に連続撮影するスロット長尺機能を有すること。
- ・特殊撮影：(2)機能として、スリット間のブレンディング補正、ゲイン補正、マルチダイナミックレンジ圧縮処理機能を有すること。

⑧ 装置オプション

以下の画像処理アプリケーション、付属品を搭載し仕様を満たすこと。

- ・ Intelli SHUTTER+SECURELIGHT
- ・ マーゲン PKG
- ・ SECURECAMERA
- ・ SECURESENSOR
- ・ 被検者用固定バンド
- ・ テーブルインターロック（天井高 2750 mm対応）
- ・ VISTACOCKPIT Air
- ・ ワイヤレスデュアルフットスイッチ
- ・ 近接ディスプレイ（48インチモニター）
- ・ Boost C
- ・ WOW
- ・ Intelli FRAME
- ・ Intelli RESOLUTION
- ・ Intelli EXPORT
- ・ Angio VIEW
- ・ Panorama VIEW
- ・ Realtime Angio
- ・ VISTARECORDER

⑨ ネットワーク接続

- ・ 当院 RIS 端末から本装置へ DICOM MWM 接続を行うこと。
- ・ 一般撮影オーダーについては DICOM タブを CR として画像送信すること。
- ・ 動画 PACS（Cardio Agent）及び静止画 PACS（PSP）に DICOM Storage 接続を行うこと。
- ・ RDSR を出力し、PACS（PSP）へ送信すること。検査単位の線量情報を抽出し、線量管理ソフト（MINCADI）での管理を可能とすること。

⑩ 付属品

- ・ 撮影室内外の物品収納棚を担当者と協議の上設置すること。
- ・ 遠隔操作用デスク、背もたれのない椅子2脚を有すること。
- ・ 散乱線防護カバーを有すること。また設置に関しては担当者で協議すること。
- ・ 監視カメラを2式、確認用モニターも2式有すること（そのうち SECURECAMERA を1台とする）。なお、確認用モニターは19インチカラーディスプレイとする。
- ・ 内視鏡検査画像、透視録画画像を切り替え表示可能な19インチカラーディスプレイを用意すること。
- ・ プロテクターラック3台（HOSHINA 社製 PHF-10）を用意すること。

- ・机上のブックスタンドを用意すること。
- ・近接ディスプレイの画面に液晶保護パネルを設置すること。

⑪ 設置および附帯工事

- ・既存装置、既存装置の付属品の撤去・廃棄（マニフェスト管理を含む）を受注者の負担で行うこと。
- ・撮影室のスライド式扉の設置ならびに壁面、床、天井の補修・塗装、それに伴う必要な電源・配管工事、壁付スイッチ類の移設等一式を行うこと。
- ・操作室の床上露出ケーブル等は、保護カバー等でまとめて固定・整理すること。
- ・搬入・工事にあたっては当院担当者と協議し、養生等を含め施設を破損しないよう万全を期すこと。なお、物品を納入するまでに生じた一切の損害は受注者の負担とする。
- ・停電ノイズ対策 周辺機器の電源については、ノイズ対策も含めて装置本体から分電・共有しないこと。更に、接続用コンセントを装置電源から分電しないこと。

5. 教育訓練および運用サポート

- ・本装置が有効に稼働するために、操作説明会並びに教育訓練を行うこと。
- ・納入までに装置の仕様変更やソフトウェアの変更があった場合は、協議の上、最適な仕様で納入すること。
- ・リモートメンテナンス機能を有すること。
- ・内視鏡装置等の関連機器について、設置後のモニタ接続、配線および正常稼働の確認を行うこと。
- ・当院が納得できる画像提供まで調整すること。なお、透視画像はどの視野サイズでもDRLs2025の透視線量率 17mGy/min (IVR 基準点線量率)未満で調整を行うものとする。画質調整後の各種パラメータ、照射線量は初期データとして提出すること。詳細は当院放射線部担当者と協議のうえ決定すること。
- ・装置構成一覧、備品一覧、設置時の性能・出力測定結果、動作試験結果等を2部、PDFデータと共に提出すること。また、設置データ等は電子ファイルをDVD等のメディアに記録し提出すること。
- ・装置紹介用の壁掛けパネルを1台、検査紹介用の壁掛けパネルを1台用意し、検査待合室へ設置すること。詳細は当院放射線部担当者と協議のうえ決定すること。

6. 保守体制および保証期間

- ・運用開始後1年間は、通常使用による故障に対する無償メンテナンス保証に応じること。
- ・障害発生時には、中部・関西圏等の拠点から速やかに現地支援ができる体制を有するこ

と。

- ・設置完了後、X線の漏洩線量測定を行い、関係書類を提出すること。
- ・医療法施行規則等に定められた各種届出書類の作成にあたり、資料提供等の協力を行うこと。
- ・操作手順書、使用マニュアル、添付文書はすべて3部用意すること。
- ・装置の故障時や緊急時には、24時間対応が可能であること。

7. 支払方法

納品後、請求日から30日以内に支払うものとする。

8. その他

本仕様書に記載のない事項については発注者、受注者双方協議により決定する。